
福祉サービス第三者評価（保育分野）
評価結果報告書

横浜市すすき野保育園

添付書類

- 1 評価結果総括表
- 2 評価結果についての講評
- 3 評価結果
- 4 保育観察
- 5 利用者家族アンケート集計表結果
- 6 利用者家族アンケート結果(グラフ表示)
- 7 評価結果まとめ

平成31年 2月 28日

公益社団法人 けいしん神奈川

1 評価結果総括表

○評価組織

事業所	横浜市すすき野保育園
報告書作成日	平成 31 年 2 月 28 日
評価機関	公益社団法人 けいしん神奈川

○評価方法

自己評価方法 平成 30 年 10 月 11 日～平成 30 年 11 月 9 日	領域ごとに職員が原案をまとめ、その結果を全員で討議・まとめを行い、園長が全体を集約した。
評価調査員による評価方法 平成 30 年 12 月 10 日、12 日	評価調査員 2 名が現地視察と書類確認、面談でヒアリング調査(園長、各保育士、調理員)を行い評価した。
利用者家族アンケート調査方法 平成 30 年 10 月 11 日～10 月 25 日	全利用者(園児)の保護者に 保育園から手渡し、評価機関が準備したアンケート回収箱(各教室に6個)を準備し、保護者から直接投函、評価機関が直接回収する方法をとった。 対象家族90世帯、回収数72 回収率80.0%
利用者本人調査方法 平成 30 年 12 月 10 日、12 日	・観察調査は園内で実施した ・聞き取り調査は食事中、保育中を中心に各クラスで実施した(0歳児から5歳児まで)

評価結果についての講評

施設の特徴

横浜市すすき野保育園は昭和55年6月2日に開所し、来年で40周年を迎えます。施設は、東急田園都市線あざみ野駅から東急バス「虹ヶ丘団地」徒歩5分のところに位置し、鉄筋コンクリート2階建て、建物面積は283.01平方メートル（児童一人当たりの面積2.67平方メートル）。敷地面積は1422.41平方メートル（児童一人当たり13.42平方メートル）の状況です。

園庭は全児童が運動することができる広いスペースになっており、園庭端には大きなプールが備え付けられています。施設はすすき野団地、虹ヶ丘団地といった閑静な団地に囲まれ、近隣には公園や緑が多く自然に恵まれた環境にあります。定員は0歳児から5歳児まで合計106名ですが、平成30年10月現在109名となっています。

のびのびとあそぼう～豊かな心と丈夫な体～を園目標に掲げ、各クラスの児童の保育を円滑にするために、①自発性を大切に、自ら遊びたいような環境を整えること ②一人一人が安定し、安心して過ごせるようにすること ③生活習慣の自立をはかることを保育姿勢として謳っています。

特に優れていると思われる点

1. 家庭環境を踏まえ、子ども一人一人の育ちを大切にしています。

- ・乳幼児期に、意欲を持って積極的に自ら学んだり、人と交わったり、興味を持ったことに集中し持続することができる「学びに向かう力」を育むことが卒園以降の生活に大きな影響を及ぼすことから、当保育所では家庭環境を踏まえ、一人一人の育ちを大切にしています。
- ・具体的には乳児保育（0歳児）においては発達の個人差を考慮しながら、一人一人に積極的に優しく問いかけ、返ってくる子どもの言葉を愛情を持って肯定的に受け入れる保育を実践し子どもとの情緒的な絆を深めています。この頃から身体の動きが活発になってくるのでのびのびと探索活動ができるよう保育室のプレイヤードを活用しています。
- ・1歳児以上3歳児未満の保育においては、自我の芽生えを大切に捉え、見守ったり、待つことを大切に一人一人の子どもに接するよう職員全員で意思統一を図っています。この時期は自己が形成され、身近な人と気持ちが通じ合う時期でもあるので、近隣への散歩を出来る限り多く取り入れ、近隣住民との触れ合いや身体づくりに取り組んでいます。
- ・3歳以上における子ども本人の尊重とは、子ども一人一人の育ちを大切に「主体性」や「自己肯定感」を高めることであり、このことを全職員が認識し保育にあたっています。就学までに自分に自信が持てる、何事にも挑戦できる、人を大切にする子どもを育成することを目指し、単に褒めたり認めることだけでなく、失敗しても頑張った過程を褒めるように努めています。0歳児から5歳児まで発達の連続性ある保育環境を職員が一丸となって整えています。

2. 保護者との連携を大切にし、保護者からの信頼を深めています。

- ・保護者と連携して子どもの育ちを共に支えるという視点を持ち、子どもの育ちを保護者と共に喜び合えることを全職員が大切にし、保護者の子育てに対する不安感・負担感・孤立感を解消するよう努めています。そのために連絡帳やクラスノートを活用し、登降時の保護者との会話などで、一人一人の子どもの様子やエピソードを丁寧に伝え、子どもへの理解を保護者と共有できるよう努めています。
- ・シフト勤務のため、全職員が各クラスに応援に入るので保育士は、全クラスの子どものことができています。自分のクラスだけでなく全クラスが見えているということです。このように保育所全体で保育にあたっていることも、保護者との絆を強化している要因になっています。今回実施した利用者アンケートにおいても、「入所後子どもの名前を先生たちがみんなで呼んでくれ、話しかけてくれたのは親子共々嬉しかったです。」との自由意見が寄せられており、一人一人の子どもを大切にしている様子が窺えます。
- ・こうした背景には、職員同士が仲良しで意思疎通が図られているということが挙げられます。常に相手の立場にたって行動することで担任通しの風通しが良好なものになっています。後輩の職員は先輩がいいお手本を示してくれると尊敬し、先輩職員は若い職員の新しい専門知識を吸収し、互いに切磋琢磨し保護者により満足していただけるよう努めていることも信頼関係を深める大きな要因になっています。

3. 調理員と保育士の連携により子どもに食事の楽しさを伝えています。

- ・利用者アンケートから「給食の献立内容」、「給食を楽しんでいるか」については「満足」「どちらかといえば満足」を合わせると概ね95%の高い満足度の状況にあります。
- ・調理の職員と保育士が連携して食育活動に取り組んでいます。毎月お楽しみ給食を実施し、調理員が日常的に保育に関わっており、調理員と保育士とで情報共有ができています。特に離乳食は子ども別に一人一人の発達の状況に応じて食べ物の固さを調整して調理するなど、きめ細かい対応ができています。また保護者にも作り方を伝えるなど、この様な点でも家庭との連携が図られています。
- ・ひと月に同じメニューが2度回ってくるので、1回目では不評であれば2回目では切り方、盛り付けを変えるよう工夫しています。特にゆで野菜の時は切り方を工夫しています。また野菜の型抜きやさんまの骨の取り方教室は子どもたちの食欲を駆り立て、食事が楽しくなるよう工夫しており、子どもたちにも大変好評です。誕生日には幼児クラスは誕生日ランチプレートを用意し特別な日として他の子どもたちから祝福してもらっています。
- ・職員面談の際、複数の保育士から「調理員さんは私たちの依頼をいやがらず、手間を惜しまず一緒にきめ細かく対応してくれています」との発言もあり、調理員と保育士が信頼関係で結ばれています。

4. 人材育成・援助技術の向上に努めています

- ・横浜市人材育成ビジョン、専門能力の向上を目指す保育士職キャリアラダーに基づき、職員のスキルの段階に合わせて計画的に研修を受けられるようにしています。研修内容は全職員で共有できるように研修報告書を作成し、随時ミーティングや会議等で報告を行っています。パート職員についても、必要な研修を受けることができます。新採用や2年目の職員には専属のトレーナー職員を配置しきめ細かな指導を行っています。
- ・正規職員は保育士職キャリアラダーに基づき目標共有シートを作成し、その年の各自の目標を掲げ、園長と面談をして内容を共有しスキルアップに努めています。各自の目標は全職員で共有され、共通点のある目標については、協力して行うようにしています。目標共有シートは、年度の終わりに園長と振り返りを行い次年度以降の能力開発につなげていきます。目標共有シートには個々人の得意分野を記入する欄が設けてあり、園長は得意分野に磨きをかけ専門力を高めるよう指導しています。園内研修では、自分の得意分野を中心に職員が講師となり知識や技能の継承に努めています。
- ・全職員で年度末に保育所の自己評価を行い、振り返りと今後の課題について、共通認識を持つようにしています。保育士の自己評価も行い、自身の保育の課題等を明らかにしています。

特に工夫する点・改善が望まれる点

1. 日常業務について更なる効率に向けた工夫が期待されます。

- ・保育士は日常的に指導計画や保育日誌など多くの書類を作成しており、事務負担が重いものになっています。またシフト勤務のため全員が会議に参加できないので、指導計画、個別支援計画の共有が難しいところがあります。
- ・同園は、園長の指導のもと保育士さんが意識して情報共有にも取り組んでおられますが、こうしたことに対応して行くためにはIT化による事務負担の軽減が有効です。しかしながら公立保育園におけるIT機器の導入は単独では難しいものがあります。IT機器導入までの間、保育所独自で解決できる項目を洗い出し、ムリ・ムダ・ムラを解消することで子どもと向き合う時間を少しでも多く設ける工夫が期待されます。

2. 地域に開かれた保育所として地域との更なる交流が期待されます。

- ・当すすき野地区は子育て世代が少なく育児支援利用者は減少傾向にあります。保育園はこれまで蓄積してきた保育の知識、経験、技術等の専門性を生かし、地域の共有財産として地元自治会だけでなく隣接の川崎市麻生区の虹ヶ丘団地等、より広い範囲で地域と交流を深めることが求められています。内部に向けた運営管理が素晴らしいだけに、地域のネットワークを利用して開かれた園として更なる地域への情報発信が期待されます。

横浜市福祉サービス第三者評価（保育分野）

評価領域Ⅰ 子ども本人の尊重

評価分類・評価項目	評価結果	評価の理由（コメント）
I-1 保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正面玄関、各保育室に園目標、保育姿勢、保育理念、保育方針を掲示し、全職員の理解を図るとともに保護者にも意識してもらっています。特に保護者にとっては保育姿勢や保育理念は馴染が薄い言葉なのでわかりやすい言葉に置き換えて説明し理解を得ています。 ・ 園目標は子ども本人を尊重したものであり、それに基づき保育を実践しています。毎月の職員会議では全職員で保育方針を見直し共通の理解を図っています。 ・ 園だよりに園目標を毎月掲載し、保護者に意識してもらっています。 ・ 全体的な計画は、よこはまの保育、保育指針に基づき、全職員がグループに分かれて作成しています。全体的な計画は毎年度末に自己評価の実施時に見直しを行っています。 ・ 見直しをする際には保護者アンケートの保護者の要望・意見を取り入れ、次年度の課題に反映させています。 ・ 毎年、保育の中でテーマを考え1年間取り組んでいます。テーマは年長児が話し合っていて決めています。今年は「キラキラ輝けレインボーパワー」をテーマに一人一人の長所を全職員で見つけていくことを意識して保育に努めています。 ・ 年間指導計画は毎年見直し、その年の子どもの発達や姿に合わせた計画を作成しています。乳児クラスではゆったりとした雰囲気大切に、子どもの様子や表情をよく観察し、意思を汲み取り指導計画を作成しています。 ・ 各クラスとも写真や絵を用いて、言葉だけでなく視覚から理解を得られるように工夫しています。指導計画の中には、子どもが主体的に活動できるような内容を取り入れ豊かな体験ができるように工夫しています。
I-1-1(1) 保育の理念や基本方針が子ども本人を尊重したのになっており、全職員が理解し、実践しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正面玄関、各保育室に園目標、保育姿勢、保育理念、保育方針を掲示し、全職員の理解を図るとともに保護者にも意識してもらっています。特に保護者にとっては保育姿勢や保育理念は馴染が薄い言葉なのでわかりやすい言葉に置き換えて説明し理解を得ています。 ・ 園目標は子ども本人を尊重したものであり、それに基づき保育を実践しています。毎月の職員会議では全職員で保育

		<p>方針を見直し共通の理解を図っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園だよりに園目標を毎月掲載し、保護者に意識してもらっています。
I-1-1(2) 全体的な計画は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画は、よこはまの保育、保育指針に基づき、全職員がグループに分かれて作成しています。全体的な計画は毎年度末に自己評価の実施時に見直しを行っています。 ・見直しをする際には保護者アンケートの保護者の要望・意見を取り入れ、次年度の課題に反映させています。
I-1-1(3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、保育の中でテーマを考え1年間取組んでいます。テーマは年長児が話し合っていて決めています。今年は「キラキラ輝けレインボーパワー」をテーマに一人一人の長所を全職員で見つけていくことを意識して保育に努めています。 ・年間指導計画は毎年見直し、その年の子どもの発達や姿に合わせた計画を作成しています。乳児クラスではゆったりとした雰囲気大切に、子どもの様子や表情をよく観察し、意思を汲み取り指導計画を作成しています。 ・各クラスとも写真や絵を用いて言葉だけでなく視覚から理解を得られるように工夫しています。指導計画の中には、子どもが主体的に活動できるような内容を取り入れ豊かな体験ができるように工夫しています。

I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢ごとの面接表を保護者に記入してもらい個別の面談を行っています。面談記録は職員間で共有し、入園までに全員の子どもの特徴を理解するよう努めています。 ・面接記録は事務所内の鍵のかかる書庫に保管し必要に応じて閲覧することができます。新入園児の面接は、出来る限り担任が行うようにしています。 ・職員会議で子どもの様子や家庭環境について話し合い、全職員が把握できるようにしています。毎日のミーティングできめ細かく連絡を取り合い共通の認識を持つことを大切にしています。 ・保護者や子どもの状況に合わせて短縮保育の期間や時間を柔軟に設定しています。短縮保育初日は親子で過ごしてもらい、安心して園生活に慣れるようにしています。 ・入園説明会ではパワーポイントを使用し、わかりやすく説明を行い、入園に必要な物は提示し理解しやすいよう配慮しています。乳児クラスは個別の連絡帳、幼児クラスはクラスノートでその日の様子を伝えています。 ・クラス便りや各保育室の掲示で月のクラス目標を保護者に
---------------------------	---	---

		<p>伝えていきます。カリキュラム会議でクラスの状況と指導計画を報告し、全職員で評価、見直しを行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児の個人別指導計画や個別配慮児の指導計画は保護者と面談したこと、連絡帳でやりとりしたことを反映させて作成しています。保護者の要望や意見を表明できる意見箱を事務所の見やすいところに設置しています。 ・発達個人差を考慮し、一人一人に合わせた応答的な関わりを大切に保育を実践しています。保護者との連絡を密にし、離乳食など家庭と併せて進めていけるよう、調理員と共に細やかな話し合いを行っています。 ・探索活動ができるように保育室のプレイヤードを活用しています。また危険のないように柵にはカバーをかけるなど安全な環境づくりに努めています。 ・自我の芽生えを大切に捉え、見守り、待つことを大切に一人一人の子どもに接するよう職員間で意思統一を図っています。また、懇談会などを通して保護者にも伝えていきます。 ・近隣への散歩に出かける時は歩くことを大切に、身体づくりに取り組んでいます。 ・保育所保育指針については全職員が研修を受け、改訂のポイントなどについて学び指導計画に取り入れています。 ・一人一人が自己肯定感を持って卒園できるよう、意識して保育を実践しています。子どもの遊びの場面やエピソードを写真や文字にして保護者に伝え、内面の育ちを大切に保育を実践しています。
I-2-1(1)入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢ごとの面接表を保護者に記入してもらい個別の面談を行っています。面談記録は職員間で共有し、入園までに全員の子どもの特徴を理解するよう努めています。 ・面接記録は事務所内の鍵のかかる書庫に保管し必要に応じて閲覧することができます。新入園児の面接は、出来る限り担任が行うようにしています。 ・職員会議で子どもの様子や家庭環境について話し合い、全職員が把握できるようにしています。毎日のミーティングできめ細かく連絡を取り合い共通の認識を持つことを大切にしています。

I-2-(2)新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や子どもの状況に合わせて短縮保育の期間や時間を柔軟に設定しています。短縮保育初日は親子で過ごしてもらい、安心して園生活に慣れるようにしています。 ・入園説明会ではパワーポイントを使用し、わかりやすく説明を行い、入園に必要な物は提示し理解しやすいよう配慮しています。乳児クラスは個別の連絡帳、幼児クラスはクラスノートでその日の様子を伝えています。
I-2-(3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス便りや各保育室の掲示で月のクラス目標を保護者に伝えています。カリキュラム会議でクラスの状況と指導計画を報告し、全職員で評価、見直しを行っています。 ・乳児の個人別指導計画や個別配慮児の指導計画は保護者と面談したこと、連絡帳でやりとりしたことを反映させて作成しています。保護者の要望や意見を表明できる意見箱を事務所の見やすいところに設置しています。
I-2-(4)乳児保育(0歳児)において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の個人差を考慮し、一人一人に合わせた応答的な関わりを大切にした保育を実践しています。保護者との連絡を密にし、離乳食など家庭と併せて進めていけるよう、調理員と共に細やかな話し合いを行っています。 ・探索活動ができるように保育室のプレイヤードを活用しています。また危険のないように柵にはカバーをかけるなど安全な環境づくりに努めています。
I-2-(5)1歳以上3歳未満の保育において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自我の芽生えを大切に捉え、見守り、待つことを大切に一人一人の子どもに接するよう職員間で意思統一を図っています。 また、懇談会などを通して保護者にも伝えています。 ・近隣への散歩に出かける時は歩くことを大切に、身体づくりに取り組んでいます。
I-2-(6)3歳以上児の保育において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針については全職員が研修を受け、改訂のポイントなどについて学び指導計画に取り入れています。 ・一人一人が自己肯定感を持って卒園できるよう意識して保育を実践しています。子どもの遊びの場面やエピソードを写真や文字にして保護者に伝え、内面の育ちを大切に保育を実践しています。

I-3 快適な施設環境の確保	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月園舎内外を分担して清掃しています。定期的に倉庫内の整理整頓、園舎内外の点検整備を行い安全を確認しています。 ・冷暖房使用時は温度設定、換気に気を付けています。通年、空気清浄機を使用し湿度管理を行っています。
----------------	---	---

		<ul style="list-style-type: none"> ・栽培活動を通して緑や花を取り入れています。定期的な樹木の剪定や草刈りを行っています。 ・感染症流行時等は特にシンク周りの清掃を強化しています。 ・清掃マニュアルをもとに毎日掃除を行っています。 ・まだオムツの外れていない子は個別のたらいを使用して水遊びをしています。戸外の温水シャワーは施設開放で来園した親子にも使用できるようにしています。 ・乳児室のプレイヤードを使用し小集団での活動が行われるようにしています。死角ができないような空間づくりや保育士の立ち位置なども工夫しています。個々の子どもを観察しつつ全体が観察できるよう、保育士通しできめ細かく連携を取り合って保育を行っています。 ・食事は各保育室で、幼児クラスの午睡はホールと空間を分けています。 ・夏季保育や土曜、延長保育では異年齢保育を実践しています。幼児クラスは定期的に異年齢で活動する期間を設けています。幼児を赤と青のクラスに分け夏季 3 週間にわたり異年齢保育を行っています。 ・異年齢保育を通して担任の子どもだけでなく他のクラスの子どもの理解することにつながり、互いに情報を共有しています。
<p>I-3-(1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月園舎内外を分担して清掃しています。定期的に倉庫内の整理整頓、園舎内外の点検整備を行い安全を確認しています。 ・冷暖房使用時は温度設定、換気に気を付けています。通年、空気清浄機を使用し湿度管理を行っています。 ・栽培活動を通して緑や花を取り入れています。定期的な樹木の剪定や草刈りを行っています。
<p>I-3-(2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症流行時等は特にシンク周りの清掃を強化しています。 ・清掃マニュアルをもとに毎日掃除を行っています。 ・まだオムツの外れていない子は個別のたらいを使用して水遊びをしています。戸外の温水シャワーは施設開放で来園した親子にも使用できるようにしています。

<p>I-3-(3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児室のプレイヤードを使用し小集団での活動が行われるようにしています。死角ができないような空間づくりや保育士の立ち位置なども工夫しています。個々の子どもを観察しつつ全体が観察できるよう保育士通しできめ細かく連携を取り合って保育を行っています。 ・食事は各保育室で、幼児クラスの午睡はホールと空間を分けています。 ・夏季保育や土曜、延長保育では異年齢保育を実践しています。幼児クラスは定期的に異年齢で活動する期間を設けています。幼児を赤と青のクラスに分け夏季3週間にわたり異年齢保育を行っています。 <p>異年齢保育を通して担任の子どもだけでなく他のクラスの子どもを理解することにつながり、互いに情報を共有しています。</p>
--------------------------------------	----------	---

<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児、特別支援児には個別の指導計画を作成しきめ細かく対応しています。 ・0歳児、特別支援児には毎日個別の日誌を作成しています。 ・子どもの様子によって保護者との連携が必要な場合は保護者に丁寧に説明しています。個別配慮については会議やミーティングで職員間の情報共有を行っています。 ・0歳児と特別支援児には毎日の日誌、1～5歳児については所定の個別記録簿に記載しています。 ・進級時には旧担任から新担任に丁寧な引継ぎを行い、子ども、保護者とも安心して進級できるようにしています。 ・児童票や経過記録は事務所保管で自由に閲覧可能であるが、個人情報漏えい防止の観点から事務所以外への持ち出しを禁止しています。 ・小学校へは保育所児童保育要録を送付しています。必要であれば個別に小学校と連絡をとり、申し送りを行っています。
<p>I-4-(1)子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児、特別支援児には個別の指導計画を作成しきめ細かく対応しています。 ・0歳児、特別支援児には毎日個別の日誌を作成しています。 ・子どもの様子によって保護者との連携が必要な場合は保護者に丁寧に説明しています。個別配慮については会議やミーティングで職員間の情報共有を行っています。

<p>I-4-(2) 子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児と特別支援児には毎日の日誌、1～5歳児については所定の個別記録簿に記載しています。 ・進級時には旧担任から新担任に丁寧な引継ぎを行い、子ども、保護者とも安心して進級できるようにしています。 ・児童票や経過記録は事務所保管で自由に閲覧可能であるが、個人情報漏えい防止の観点から事務所以外への持ち出しを禁止しています。 ・小学校へは保育所児童保育要録を送付しています。必要であれば個別に小学校と連絡をとり、申し送りを行っています。
--	----------	--

<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のカリキュラム会議では個別ケースについて議論し、決定事項や課題等を記録しています。必要とあれば随時ケース会議を開いています。 ・地域療育センターあおばや保健師と連携し、助言や研修を受け保育に活用しています。 ・地域療育センターあおば、青葉区福祉保健センターとは常に情報を共有し合い相談・助言をもらっています。 ・その子どもの特性に配慮した空間を作り時間の見通しが立てられるような視覚的配慮を行っています。 ・障害児保育の研修を毎年行っています。地域療育センターあおばでの実地研修にも参加し、より実践的研修でスキルアップを図れるようにしています。 ・毎年虐待についての研修を実施しています。朝の健康観察、衣服の着脱時に全身の健康状態のチェックを行い、疑わしい時には園長に報告しています。必要があれば青葉区福祉保健センター、児童相談所に連絡しています。傷などについては日付、写真、内容などを記録に残しています。 ・虐待のケースについては、青葉区福祉保健センター、児童相談所と必要に応じてケースカンファレンスを行っています。 ・誤食防止マニュアルに従い毎日のミーティングで確認しています。ダブルチェック、ボードで確認、プレートや台布巾の色を変え、座席の配慮を励行しています。 ・除去内容や緊急時対応を含めた一覧表を作成し、事務所書庫に掲示しています。 ・毎月保護者、園長、担任、調理員とで除去確認の面談を実施しています。今年度はエピペンの使用方法について研修を実施しました。
----------------------------------	----------	--

<p>I-5-(1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のカリキュラム会議では個別ケースについて議論し、決定事項や課題等を記録しています。必要とあれば随時ケース会議を開いています。 ・地域療育センターあおばや保健師と連携し、助言や研修を受け保育に活用しています。
<p>I-5-(2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域療育センターあおば、青葉区福祉保健センターとは常に情報を共有し合い相談・助言をもらっています。 ・その子どもの特性に配慮した空間を作り時間の見通しが立てられるような視覚的配慮を行っています。 ・障害児保育の研修を毎年行っています。地域療育センターあおばでの実地研修にも参加し、より実践的研修でスキルアップを図れるようにしています。
<p>I-5-(3)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年虐待についての研修を実施しています。朝の健康観察、衣服の着脱時に全身の健康状態のチェックを行い、疑わしい時には園長に報告しています。必要があれば青葉区福祉保健センター、児童相談所に連絡しています。傷などについては日付、写真、内容などを記録に残しています。 ・虐待のケースについては、青葉区福祉保健センター、児童相談所と必要に応じてケースカンファレンスを行っています。
<p>I-5-(4)アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誤食防止マニュアルに従い毎日のミーティングで確認しています。ダブルチェック、ボードで確認、プレートや台布巾の色を変え、座席の配慮を励行しています。 ・除去内容や緊急時対応を含めた一覧表を作成し、事務所書庫に掲示しています。 ・毎月保護者、園長、担任、調理員とで除去確認の面談を実施しています。今年度はエピペンの使用方法について研修を実施しました。 ・必要に応じて、お便りにふりがなをつけ、写真で掲示できるよう準備をしています。 ・横浜市で外国語のおたよりの文例を作成しており活用を検討しています。必要に応じて青葉区から通訳ボランティアの派遣も検討しています。
<p>I-5-(5)外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、お便りにふりがなをつけ、写真で掲示できるよう準備をしています。 ・横浜市で外国語のおたよりの文例を作成しており活用を検討しています。必要に応じて青葉区から通訳ボランティアの派遣も検討しています。

<p>I-6 苦情解決体制</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会で第三者委員の名前と連絡先を説明しています。大きな行事の際には参加していただき直接紹介することも行っています。第三者委員には毎月の園だより、クラスだよりを送付し保育所内の子どもの様子を把握してもらっています。 ・意見箱の設置、保護者会を通じて意見や要望の把握に努めています。懇談会や個人面談、保育所自己評価アンケートなどで意見や要望を発信する機会を設けています。 ・必要に応じて青葉区福祉保健センターの相談窓口等を紹介しています。 ・苦情内容次第では、当日中に苦情内容、苦情への対応をミーティングを通して全職員に周知し情報共有を図っています。 ・園長、主任への迅速な報告を徹底し、具体的な対応策を速やかに打ち出せるよう努めています。 ・必要に応じて青葉区福祉保健センターへも連絡、相談を行っています。
<p>I-6-(1)保護者が保育についての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会で第三者委員の名前と連絡先を説明しています。大きな行事の際には参加していただき直接紹介することも行っています。第三者委員には毎月の園だより、クラスだよりを送付し保育所内の子どもの様子を把握してもらっています。 ・意見箱の設置、保護者会を通じて意見や要望の把握に努めています。懇談会や個人面談、保育所自己評価アンケートなどで意見や要望を発信する機会を設けています。 ・必要に応じて青葉区福祉保健センターの相談窓口等を紹介しています。
<p>I-6-(2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情内容次第では、当日中に苦情内容、苦情への対応をミーティングを通して全職員に周知し情報共有を図っています。 ・園長、主任への迅速な報告を徹底し、具体的な対応策を速やかに打ち出せるよう努めています。 ・必要に応じて青葉区福祉保健センターへも連絡、相談を行っています。

評価領域Ⅱ 保育の実施内容

Ⅱ-1 保育内容	<p data-bbox="718 190 798 235">[遊び]</p> <ul data-bbox="718 235 1460 2072" style="list-style-type: none"><li data-bbox="718 235 1460 369">・各クラスに遊びや絵本ごとにコーナーを作り、その中で自分たちでおもちゃや教材を自由に取り出せるように年齢に合わせ高さなども配慮されています。<li data-bbox="718 380 1460 571">子どもの発達や興味に応じて、定期的に絵本やおもちゃを入れ替えることで様々な遊びの発展につなげ、子どもの自主性を高めるよう努めています。子供一人ひとりの個性を把握し、好きなことに取り組みやすい環境を提供しています。<li data-bbox="718 582 1460 716">・誤飲に配慮した玩具を設置し安全に努めています。子どもの集中の様子などに合せて、デイリープログラムを柔軟に変更しています。<li data-bbox="718 728 1460 862">・指導計画をもとに、自由遊びや集団活動を計画的に行っています。一日の中に静的活動、動的活動をバランスよく取り入れています。<li data-bbox="718 873 1460 1008">・一人一人の遊びをよく見ながら、乳児は主に個別に、幼児はその発達を集団へと働きかけながら遊びを展開し、行事につなげるように工夫しています。<li data-bbox="718 1019 1460 1243">・自由遊びを大切にしながら年齢に応じて集団遊びを取り入れ、ルールを守って遊ぶ楽しさを知らせています。友達と遊ぶ中で、気持ちのぶつかり合う経験や我慢すること、相手にも気持ちがあることなどに気がつくように配慮しています。<li data-bbox="718 1254 1460 1444">・クラスごとに栽培の年度間計画を立て、季節に応じた栽培活動を行っています。植物や動物を描画したり、制作に活用したり、収穫物を使った遊びを通して充実した食育活動につなげています。<li data-bbox="718 1456 1460 1680">・散歩は毎週1回行っており、歩くことで自然との親しみを感じとることを狙いとしています。また散歩マップを作成し、身体を鍛えるための遠出コース、制作に使う落ち葉やドングリを収集するためのコース等目的に応じて園外保育を楽しんでいます。<li data-bbox="718 1691 1460 1870">・青葉区の子育て支援事業の一つに出前保育の「青空おでかけパーク」があります。市立保育園の保育士が近隣の公園に出向いて、わらべうた遊びや紙芝居など出前保育を実施し地域に根差した保育所づくりに努めています。<li data-bbox="718 1881 1460 2072">・幼児クラスで定期的にリズム遊びを行っています。クラス別に毎月の歌を決め、集会時などに歌っています。子どもの作品はクラス内に掲示したり、飾ったりしています。マジック、クレヨンなど年齢や発達に応じて使用する教材を
----------	---

用意しています。

- ・幼児クラスでは、異年齢保育の日を「なかよしの日」と呼び、食事まで一緒に過ごしています。
- ・5歳児は布団敷き、調理室への人数報告などの手伝いをしています。年度末のお別れ会で4歳児に引き継いでいます。
- ・延長保育、土曜保育などは異年齢で過ごしています。異年齢保育ではどの保育士が対応しても同じ対応ができるよう一貫した保育を心がけています。
- ・紫外線が強い時期は園庭、プールに遮光ネットを張って直射日光を防いでいます。タレ付き帽子を着用し紫外線防止に努めています。幼児クラスは健康カード、乳児クラスは連絡帳で毎日健康状態をきめ細かくチェックしています。
- ・散歩マップを活用し、年齢や子どもの状態に応じて公園へ出かけて身体を動かしています。公園では遊ぶ前に職員が安全チェックを行っています。
- ・保護者会の協力を得て、外部講師による体育指導などを行っています。
- ・子どもが安全で楽しく遊べるように園庭遊びの約束を掲示し、子どもにわかるようにしています。
- ・広い園庭を活用し、だるまさんが転んだや鬼ごっこ、フラフープなどの場所を必要とする身体遊びを行っています。広いプールもあり、他園の園児とプール交流なども行われています。

[生活]

- ・食事は子どもの様子に合わせて量を調節し、完食の喜びが持てるようにしています。季節の食材に触れたり、見たり、匂いを嗅いだりする機会や、収穫した栽培物を調理したりする機会を多く作り、食への関心や興味を持つようにしています。
- ・毎月バイキング形式でお楽しみ給食を実施しています。通常とは違った雰囲気を出し楽しく食べられるよう工夫をしています。自分で好きなものを好きなだけ選ぶことで子どもの自立性向上につなげています。
- ・5歳児はエプロン、三角巾を着用し、衛生面に配慮しながら、配膳などの当番活動を行っています。調理員が子どもに人気の給食レシピや作り方の解説をプリントにして配布、掲示などを行っています。また、骨付き魚（さんま）の食べ方を図に示して子どもたちに教える機会を持ってい

ます。

- 皿、コップは、年齢により形状や重さなどを配慮したものを使用しています。パクパク便りを幼児クラスに掲示して、食に親しめるようにするとともに食育教育にも活用しています。
- 会食会ではランチョンマットや室内装飾、BGMなどで楽しい雰囲気を作っています。野菜やゼリーの形ぬきなどで楽しく食べられる工夫をしています。
- 毎日のミーティングで各クラスの喫食状況を確認し、次回の配膳量や食材のカットの大きさなどを調整しています。
- 幼児クラスでは、そら豆やトウモロコシの皮むきなどを通して食への関心や調理員との関わりを深めるようにしています。調理員はクラスを回り、子どもの喫食状況の把握に努めています。
- プレスチェック表（0歳児5分、1歳児10分ごと）をつけ、俯せを避けてSIDS防止を行っています。子どもの顔、顔色がわかるように採光、保育士の位置を意識しています。午睡前は絵本を見るなどの静的な活動で午睡への導入につなげています。
- 乳児クラスでは寝付けない子には傍につき身体に触れたり、子守唄をうたって、安心して眠りにつけるようにしています。幼児クラスは、眠らなくても横になって心身を休めることが大切であることを伝えながら、負担にならないようにしています。
- 1月頃から5歳児の午睡時間を短縮したり、無くしたりして、就学に向けての準備をしています。
- 幼児でおもらしをした際は、子どもが傷つかないように優しく受け止め周りの子に気づかれないようにカーテンをしてシャワーをしています。トイレトレーニングは個人差があることを保護者に伝え、家庭と連携を取りながら、一人ひとりのペースに合わせて進めるようにしています。
- 担任以外の職員でも全園児の様子が解り、保護者からの質問などにも対応できる様、職員間でこまめに情報共有に努め、遅番保育士には引継ぎノートで確実に情報が伝わるよう取り組んでいます。

<p>[遊び]</p> <p>Ⅱ－１－(1)子どもが主体的に活動できる環境構成(おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど)ができているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスに遊びや絵本ごとにコーナーを作り、その中で自分たちでおもちゃや教材を自由に取り出せるようにしています。子どもの発達や興味に応じて、定期的に絵本やおもちゃを入れ替えることで様々な遊びの発展につなげ、子どもの自主性を高めるよう努めています。 ・誤飲に配慮した玩具を設置し安全に努めています。子どもの集中の様子などに合せて、デイリープログラムを柔軟に変更しています。
<p>Ⅱ－１－(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画をもとに、自由遊びや集団活動を計画的に行っています。一日の中に静的活動、動的活動をバランスよく取り入れています。 ・一人一人の遊びをよく見ながら、乳児は主に個別に、幼児はその発達を集団へと働きかけながら遊びを展開し、行事につなげるように工夫しています。 ・自由遊びを大切にしながら年齢に応じて集団遊びを取り入れ、ルールを守って遊ぶ楽しさを知らせています。友達と遊ぶ中で、気持ちのぶつかり合う経験や我慢すること、相手にも気持ちがあることなどに気がつくように配慮しています。
<p>Ⅱ－１－(3) 動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスごとに栽培の年度間計画を立て、季節に応じた栽培活動を行っています。植物や動物を描画したり、制作に活用したり、収穫物を使った遊びを通して充実した食育活動につなげています。 ・散歩マップを作成し、身体を鍛えるための遠出コース、制作に使う落ち葉やドングリを収集するためのコース等目的に応じて園外保育を楽しんでいます。 ・青葉区の子育て支援事業の一つに「青空おでかけパーク」があります。市立保育園の保育士が近隣の公園に出向いて、わらべうた遊びや紙芝居など出前保育を実施し地域に根差した保育所づくりに努めています。
<p>Ⅱ－１－(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、体を動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児クラスで定期的にリズム遊びを行っています。クラス別に毎月の歌を決め、集会時などに歌っています。子どもの作品はクラス内に掲示したり、飾ったりしています。マジック、クレヨンなど年齢や発達に応じて使用する教材を用意しています。

<p>Ⅱ－１－(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児クラスでは、異年齢保育の日を「なかよしの日」と呼び、食事まで一緒に過ごしています。 ・ 5歳児は布団敷き、調理室への人数報告などの手伝いをしています。年度末のお別れ会で4歳児に引き継いでいます。 ・ 延長保育、土曜保育などは異年齢で過ごしています。異年齢保育ではどの保育士が対応しても同じ対応ができるよう一貫した保育を心がけています。
<p>Ⅱ－１－(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紫外線が強い時期は園庭、プールに遮光ネットを張って直射日光を防いでいます。タレ付き帽子を着用し紫外線防止に努めています。幼児クラスは健康カード、乳児クラスは連絡帳で毎日健康状態をきめ細かくチェックしています。 ・ 散歩マップを活用し、年齢や子どもの状態に応じて公園へ出かけて身体を動かしています。公園では遊ぶ前に職員が安全チェックを行っています。 ・ 保護者会の協力を得て、外部講師による体育指導を行っています。 ・ 子どもが安全で楽しく遊べるように園庭遊びの約束を掲示し、子どもにわかるようにしています。
<p>[生活] Ⅱ－１－(7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事は子どもの様子に合わせて量を調節し、完食の喜びが持てるようにしています。季節の食材に触れたり、見たり、匂いを嗅いだりする機会や、収穫した栽培物を調理したりする機会を多く作り、食への関心や興味を持つようにしています。 ・ 毎月バイキング形式でお楽しみ給食を実施しています。通常とは違った雰囲気を演出し楽しく食べられるよう工夫をしています。自分で好きなものを好きなだけ選ぶことで子どもの自立性向上につなげています。 ・ 5歳児はエプロン、三角巾を着用し、衛生面に配慮しながら、配膳などの当番活動を行っています。調理員が子どもに人気の給食レシピや作り方の解説をプリントにして配布、掲示などを行っています。

<p>Ⅱ－１－(8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・皿、コップは、年齢により形状や重さなどを配慮したものを使用しています。パクパク便りを幼児クラスに掲示して、食に親しめるようにするとともに食育教育にも活用しています。 ・会食会ではランチョンマットや室内装飾、BGMなどで楽しい雰囲気を作っています。野菜やゼリーの形ぬきなどで楽しく食べられる工夫をしています。お楽しみ給食を毎月実施しています。
<p>Ⅱ－１－(9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に生かしているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティングで各クラスの喫食状況を確認し、次回の配膳量や食材の大きさなどを調整しています。 ・幼児クラスでは、そら豆やトウモロコシの皮むきなどを通して食への関心や調理員との関わりを深めるようにしています。調理員はクラスを回り、子どもの喫食状況の把握に努めています。調理員が骨付き魚の食べ方を図に示して子どもたちに教える機会を持っています。
<p>Ⅱ－１－(10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のサンプルを事務室入口に提示して親子で降園時に見ながら、会話をしめるようにしています。 ・パクパクだよりを掲示して、献立や食材に興味や関心が持てるようにしています。 ・前月好評だったメニューのレシピを全家庭に配布しています。保育参観、懇談会時に保護者にも食事場面に参加してもらっています。
<p>Ⅱ－１－(11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレスチェック表（0歳児5分、1歳児10分ごと）をつけ、俯せを避けてSIDS防止を行っています。子どもの顔、顔色がわかるように採光、保育士の位置を意識しています。午睡前は絵本を見るなどの静的な活動で午睡への導入につなげています。 ・乳児クラスでは寝付けない子には傍につき身体に触れたり、子守唄をうたって、安心して眠りにつけるようにしています。幼児クラスは、眠らなくても横になって心身を休めることが大切であることを伝えながら、負担にならないようにしています。 ・1月頃から5歳児の午睡時間を短縮したり、無くしたりして、就学に向けての準備をしています。

<p>II-1-(12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児でおもらしをした際は、子どもが傷つかないように優しく受け止め周りの子に気づかれないようにカーテンをしてシャワーをしています。トイレトレーニングは個人差があることを保護者に伝え、家庭と連携を取りながら、一人ひとりのペースに合わせて進めるようにしています。
<p>II-1-(13)長時間にわたる保育のための環境を整え、配慮した保育が行われているか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育利用の子には夕食の量にも配慮しながら、適量のおやつを提供しています。急な延長利用やアレルギー児にも対応できるように準備をしています。 ・担任以外の職員でも全園児の様子がわかり、保護者からの質問などに対応できるよう、きめ細かく情報共有を行っています。引き継ぎ事項はノートに記載し、遅番保育士に確実に伝えるよう配慮しています。

<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理</p>	<p>A</p>	<p>[健康管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既往症については保護者が入園時、健康台帳に記入したものを事務所に保管し、随時追記し個人面談時には確認してもらい予防接種などの記載漏れのないようにしています。歯磨きは子どもが磨いた後、保育士が仕上げ磨きをしています。毎月身長、体重測定を行い、保護者に伝えています。 ・熱性けいれん、脱臼などの配慮が必要な子どもには、対応法も含め一覧表で管理するとともに、園長が管理している書庫の内側に掲載し、全職員がすぐに確認できるよう利用面でも工夫しています。また医師からの与薬指示がある子に関しては与薬依頼書とともに薬を預かり、指示のもと対応しています。 ・年2回の歯科健診時には5歳児は赤染めを行い、歯科衛生士からブラッシング指導を受けています。健診結果は園日より、掲示文などで保護者に伝えています。 ・健診の記録は健康台帳、歯科健診診査票に記入しています。感染症の流行がみられた時は嘱託医に報告し、指示を仰いでいます。 ・嘔吐処理については全職員研修を実施し、適切な処理が行えるようにしています。感染症が発症した場合は、迅速に保護者に掲示連絡しています。感染症一覧表を電話の側に配置し、保護者からの連絡に即座に対応し、登園許可書や登園届の記入など適切な対応をしています。
----------------------------	----------	--

[衛生管理]

- ・看護師巡回訪問（年2回）の際に助言をもらいながらマニュアルの見直しを行い、常に新しい内容で取り組んでいます。早番職員が園内の安全点検とともに、保育室、廊下、階段、園庭などの衛生管理も行っています。
- ・乳児クラス、特に0歳児クラスの保育室はおもちゃや床、棚の消毒を行っています。布団乾燥は年4回行っています。

[安全管理]

- ・年間計画に基づき、避難訓練を毎月1～2回実施しています。広域避難場所の嶮山小学校への避難も年2回実施し、ルートや危険箇所の把握をしています。備蓄品は年1回確認し、期限が切れないように更新しています。家具の転倒防止など定期的に点検しています。
- ・怪我や事故に備え、医療機関の連絡先などを事務所電話脇に設置しています。タクシー券などの必要書類が一式になって、通院の際はそれを持ち出せるようになっています。
- ・軽傷の怪我は日誌に記載し、ミーティングで報告し、ミーティングノートにも記載し、全員で情報を共有しています。通院を要する怪我は事故報告書、経過記録に記載。怪我は複数で確認し、的確な判断ができるようにしています。
- ・事故や怪我はミーティングなどで報告し、全職員で再発防止に向け改善を行っています。
- ・不審者対応マニュアルをもとに不審者侵入を想定した訓練を行い、改善点など見直しを行っています。
- ・不審者侵入対策として門扉はオートロックになっています。保護者はICカードで入園し、一般訪問者は、インターホンで来園者を確認してから開錠しています。
- ・防犯メールを通して入る情報は職員に周知し、必要に応じて保護者にも知らせています。
- ・登降園付添い人に記載された人以外への引き渡しは、保護者からの連絡があった場合のみとして、改めて確認を取るようになっています。

<p>[健康管理]</p> <p>Ⅱ－２－(1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・既往症については保護者が入園時、健康台帳に記入したものを事務所に保管し、随時追記し個人面談時には確認してもらい予防接種などの記載漏れのないようにしています。歯磨きは子どもが磨いた後、保育士が仕上げ磨きをしています。毎月身長、体重測定を行い、保護者に伝えています。 ・熱性けいれん、脱臼などの配慮が必要な子どもは対応も含め、一覧表にして書庫内扉に掲示しています。また医師からの与薬指示がある子に関しては与薬依頼書とともに薬を預かり、指示のもと対応しています。
<p>Ⅱ－２－(2)健康診断・歯科検診の結果を保育に反映させているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年２回の歯科健診時には５歳児は赤染めを行い、歯科衛生士からブラッシング指導を受けています。健診結果は園だより、掲示文などで保護者に伝えています。 ・健診の記録は健康台帳、歯科健診診査票に記入しています。感染症の流行がみられた時は嘱託医に報告し、指示を仰いでいます。
<p>Ⅱ－２－(3)感染症への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・嘔吐処理については全職員研修を実施し、適切な処理が行えるようにしています。感染症が発症した場合は、迅速に保護者に掲示連絡しています。感染症一覧表を電話の側に置き、保護者からの連絡に即座に対応し、登園許可書や登園届の記入を案内しています。
<p>[衛生管理]</p> <p>Ⅱ－２－(4)衛生管理が適切に行われているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師巡回訪問（年２回）の際に助言をもらいながらマニュアルの見直しを行っています。早番職員が園内の安全点検とともに、保育室、廊下、階段、園庭などの衛生管理も行っています。 ・乳児クラス、特に０歳児クラスの保育室はおもちゃや床、棚の消毒を行っています。布団乾燥は年４回行っています。
<p>[安全管理]</p> <p>Ⅱ－２－(5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に基づき、避難訓練を毎月１～２回実施しています。広域避難場所の嶮山小学校への避難も年２回実施し、ルートや危険箇所の把握をしています。備蓄品は年１回確認し、期限が切れないように更新しています。家具の転倒防止など定期的に点検しています。

<p>Ⅱ－2－(6)事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我や事故に備え、医療機関の連絡先などを事務所電話脇に設置しています。タクシー券などの必要書類が一式になって、通院の際はそれを持ち出せるようになっています。 ・軽傷の怪我は日誌に記載し、ミーティングで報告し、ミーティングノートにも記載し、全員で情報を共有しています。通院を要する怪我は事故報告書、経過記録に記載。怪我は複数で確認し、的確な判断ができるようにしています。 ・事故や怪我はミーティングなどで報告し、全職員で再発防止に向け改善を行っています。
<p>Ⅱ－2－(7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者対応マニュアルをもとに不審者侵入を想定した訓練を行い、改善点など見直しを行っています。 ・不審者侵入対策として門扉はオートロックになっています。保護者はICカードで入園し、一般訪問者は、インターホンで来園者を確認してから開錠しています。 ・防犯メールを通して入る情報は職員に周知し、必要に応じて保護者にも知らせています。 ・登降園付添い人に記載された人以外への引き渡しは、保護者からの連絡があった場合のみとして、改めて確認を取るようにしています。

<p>Ⅱ－3 人権の尊重</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・呼び捨てや愛称で呼ばないように努めています（保護者からの要望によっては愛称もあります）。毎年全職員が人権研修を受講し、人権に対しての意識を高めています。研修の受講状況も記録・管理しています。実習生やボランティア・アルバイトの受け入れ時にも、人権面での子供への接し方について説明を徹底しています。 ・誕生会は一斉に行わず、一人ひとり誕生日の日にクラスでお祝いをすることで、それぞれの成長をしっかりと受けとめるようにしています。 ・事務所やホールなども含め、1対1で話をしたり、一人で過ごせる場所を確保しています。 ・泣いている子などの話を聞く際には、保育士の立ち位置を工夫し、落ち着けるようにしています。 ・トイレは個室で年齢に合わせて扉を付けています。 ・守秘義務については全職員に周知しています。実習生やボランティアの受け入れやアルバイト職員採用時にはオリエ
------------------	----------	--

		<p>ンテーションで具体的な事例を示し個人情報の重要性を伝えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年個人情報保護研修を実施しています。写真やビデオの扱いについては入園説明会や懇談会で保護者に伝えています。 ・個人情報に関する記録は事務室の鍵付き書庫で管理し、事務室外への持ち出しを禁止しています。 ・行事の呼び名では「くん」「ちゃん」ではなく、「さん」を使用しています。出席簿などは生年月日順にし、男女分けはしていません。制作など取り組み時も自由に色画用紙や折り紙を選べるようにするなど遊びなど日常生活を通して、子供たちが性差の違いを感じる事の無いよう生活できるよう配慮されています。
<p>Ⅱ－３－(1)保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・呼び捨てや愛称で呼ばないように努めています（保護者からの要望によっては愛称もあります）。毎年全職員が人権研修を受講し、人権に対しての意識を高めています。 ・誕生会は一斉に行わず、一人ひとり誕生日の日にクラスでお祝いをすることで、それぞれの成長をしっかり受けとめるようにしています。
<p>Ⅱ－３－(2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がなされているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所やホールなども含め、1対1で話をしたり、一人で過ごせる場所を確保しています。 ・泣いている子などの話を聞く際には、保育士の立ち位置を工夫し、落ち着けるようにしています。 ・トイレは個室で年齢に合わせて扉を付けています。
<p>Ⅱ－３－(3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・守秘義務については全職員に周知しています。実習生やボランティアの受け入れやアルバイト職員採用時にはオリエンテーションで具体的な事例を示し個人情報の重要性を伝えています。 ・毎年個人情報保護研修を実施しています。写真やビデオの扱いについては入園説明会や懇談会で保護者に伝えています。 ・個人情報に関する記録は事務室の鍵付き書庫で管理し、事務室外への持ち出しを禁止しています。

<p>Ⅱ-3-(4)性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の呼び名では「くん」「ちゃん」ではなく、「さん」を使用しています。出席簿などは生年月日順にし、男女訳はしていない。制作など取り組み時も自由に色画用紙や折り紙を選べるようにしています。
---	----------	--

<p>Ⅱ-4 保護者との交流・連携</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園目標、保育方針は入園のしおりに記載し、入園説明会で保護者に知らせています。毎月の園だよりに園目標、クラス便りに月目標を記載しています。日常の保育の様子を写真に撮り、具体的な保育の内容や取り組みを知らせています。毎年アンケートを実施し、保護者からの要望に応じています。 ・個人面談は全保護者を対象に秋の運動会後に年1回は必ず実施しています。必要に応じてまた希望があれば、随時行っています。また保護者の要望に合わせて、可能な限り、日程・時間は調整しています。保護者懇談会は各クラス年2回行っています。 ・職員は送迎時にその日の子どものエピソードを伝え、保護者と会話を交わすことで日頃からコミュニケーションを図っています。口頭で報告がある場合は、連絡漏れのないよう【連絡事項あります】の札を各子どものウォールポケットに入れ対応しています。 ・面談は事務室で行い、【面談中】の札を入り口に下げ、プライバシーを守っています。必要に応じて園長、主任が同席し、対応をしています。面談内容は経過記録に記載し、必要な情報はミーティングなどで、共有しています。 ・園だより、クラスだよりを毎月発行しています。毎月のクラス別のねらいと活動予定をクラスに掲示し保護者に周知しています。行事やイベントの様子は、ニコニコ通信として当日カラーで掲示板に掲示しています。懇談会では写真や、パソコンを使用して、子どもの姿や保育の様子を具体的に知らせています。 ・前年度3月に翌年度の年間行事予定表を配布して、保護者があらかじめ参加しやすいようにしています。行事や懇談会、個人面談は2か月前の園だよりで日時を周知し詳細をクラスで掲示しています。レジメや資料を作成し、欠席した保護者にも情報を提供し必要があれば補足説明を行っています。
-----------------------	----------	---

		<ul style="list-style-type: none"> ・保育参加、参観は日程を決めていますが、年間を通していつでも受け入れることができるよう柔軟に対応しています。 ・月1回の保護者会役員会に保育室を提供し、園長または主任が出席しています。保護者会共催の行事に関しては、保護者と打ち合わせをしながら進めています。保護者会からカメラを預かり、年間を通して保育士が日常保育の場面の写真を撮影し、保護者会を通じて希望者が購入する仕組みに職員も協力されていますが、アンケートによれば一部の保護者には、保護者会の要望事項であることがご理解されていない面もあり、全保護者への周知について保護者会との更なる連携の強化を図るところです。
II-4-(1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園目標、保育方針は入園のしおりに記載し、入園説明会で保護者に知らせています。毎月の園だよりに園目標、クラス便りに月目標を記載しています。日常の保育の様子を写真に撮り、具体的な保育の内容や取り組みを知らせています。毎年アンケートを実施し、保護者からの要望に応じています。
II-4-(2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・個人面談は全保護者を対象に年1回は必ず実施しています。必要に応じてまた希望があれば、随時行っています。また保護者の要望に合わせて、可能な限り、日程・時間は調整しています。保護者懇談会は各クラス年2回行っています。 ・職員は送迎時にその日の子どものエピソードを伝え、保護者と会話を交わすことで日頃からコミュニケーションを図っています。口頭で報告がある場合は、連絡漏れのないよう【連絡事項あります】の札を各子どものウォールポケットに入れ対応しています。
II-4-(3)保護者の相談に応じているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・面談は事務室で行い、【面談中】の札を入りに下げ、プライバシーを守っています。必要に応じて園長、主任が同席し、対応をしています。面談内容は経過記録に記載し、必要な情報はミーティングなどで、共有しています。

<p>Ⅱ－４－(4)保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園だより、クラスだよりを毎月発行しています。毎月のクラス別のねらいと活動予定をクラスに掲示し保護者に周知しています。行事やイベントの様子は、ニコニコ通信として当日カラーで掲示板に掲示しています。懇談会では写真や、パソコンを使用して、子どもの姿や保育の様子を具体的に知らせています。
<p>Ⅱ－４－(5)保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前年度3月に翌年度の年間行事予定表を配布して、保護者があらかじめ参加しやすいようにしています。行事や懇談会、個人面談は2か月前の園だよりで日時を周知し詳細をクラスで掲示しています。レジメや資料を作成し、欠席した保護者にも情報を提供し必要があれば補足説明を行っています。 保育参加、参観は日程を決めていますが、年間を通していつでも受け入れることができるよう柔軟に対応しています。
<p>Ⅱ－４－(6)保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の保護者会役員会に保育室を提供し、園長または主任が出席しています。保護者会共催の行事に関しては、保護者と打ち合わせをしながら進めています。保護者会からカメラを預かり、年間を通して保育士が日常保育の場面の写真を撮っています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

<p>Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域親子への対応は主任と有償ボランティアが継続的に行い、会話の中から要望やニーズを把握しています。交流保育、育児講座後にはアンケートを実施し、次回の内容に反映させています。エリア別子育て連絡会などを通して、地域の育児支援の状況、報告から情報を共有し反映させています。 ・おでかけパーク（年5回）、季節ごとの交流保育行事（夏祭り、人形劇、移動動物園、芋ほり、お話し会等、年5回）を全職員が担当し、地域の方と交流しています。 ・育児講座（年2回）交流保育（年17回）ふれあい給食（年6回）ひだまり広場（年6回）園庭開放（週3回）その他プール開放、育児相談、絵本の貸し出しなど行っており、地域の子育て支援として継続的に活動することで、地域のニーズに応えるとともに、地域支援拠点としての役割を担っています。 ・育児講座では、外部講師と親子での運動遊びを提案しています。 ・全職員が地域支援の担当になっており、様々なニーズに対応する中で、交流を通じて得られた意見なども次年度の内容検討に活かせるよう取組んでいます。 ・散歩時に地域支援のチラシを持ち歩き、出会った親子に案内をしています。 	
	<p>Ⅲ-1-1(1)地域の子育てニーズを把握するための取組をおこなっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域親子への対応は主任と有償ボランティアが継続的に行い、会話の中から要望やニーズを把握しています。交流保育、育児講座後にはアンケートを実施し、次回の内容に反映させています。エリア別子育て連絡会などを通して、地域の育児支援の状況、報告から情報を共有し反映させています。
	<p>Ⅲ-1-2) 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を生かしたサービスを提供しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・育児講座（年2回）交流保育（年17回）ふれあい給食（年6回）ひだまり広場（年6回）園庭開放（週3回）その他プール開放、育児相談、絵本の貸し出しなど行っています。 ・全職員が地域支援の担当になっており、様々なニーズに対応する中で、次年度の内容検討に活かしています。

<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を生かした相談機能</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児相談は曜日、時間を一応設定していますが、随時行っています。相談は主に園長、主任が行っていますが、内容によっては保育室で同年齢の子どもたちの姿を見ながら、保育士が対応することもあります。相談内容によっては青葉区福祉保健センターや地域療育センターあおばなどの専門機関を紹介することもあります。 ・ 近隣小学校、第三者委員には園だよりを配布して情報共有をしています。育児支援情報のチラシは青葉区福祉保健センター、地域のケアプラザなどに配架しています。またメール配信でも行っています。 ・ 育児支援の日程を青葉区の広報に掲載するほか、メールによる情報配信など紙媒体以外にも地域への情報配信を心がけています。光化学スモッグ情報などは横浜保育室への連絡系統が確立されています。 ・ 青葉区福祉保健センター課長、係長、保健師、ケースワーカーなどの連絡先や地域療育センターあおば、児童相談所への連絡体制が確立されており、地域の保育拠点として機能しています。
<p>Ⅲ－２－(1)地域の保護者や子ども等への情報提供や育児相談に応じているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児相談は曜日、時間を一応設定していますが、随時行っています。相談は主に園長、主任が行うが、内容によっては保育室で同年齢の子どもたちの姿を見ながら、保育士が対応することもあります。相談内容によっては青葉区福祉保健センターや地域療育センターあおばなどの専門機関を紹介することもあります。 ・ 近隣小学校、第三者委員には園だよりを配布して情報共有をしています。育児支援情報のチラシは青葉区福祉保健センター、地域のケアプラザなどに配架しています。またメール配信でも行っています。
<p>Ⅲ－２－(2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児支援の日程を青葉区の広報に掲載、またメール配信も行っています。光化学スモッグ情報などは横浜保育室への連絡系統が確立されています。 ・ 青葉区福祉保健センター課長、係長、保健師、ケースワーカーなどの連絡先や地域療育センターあおば、児童相談所への連絡体制が確立されています。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

<p>Ⅳ－1 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣地域のサークル団体の歌の会（年2回）、おはなし会（月1回）、和太鼓（年7回）を実施しています。近隣の方には夏まつり、運動会の実施前にお知らせをポスティングするなど、年間行事を通じた交流に取り組んでいます。近隣中学校より職業体験を受け入れています。 ・5歳児は小学校と連携し、学校見学や給食体験を実施、スムーズな就学準備をできるよう配慮しています。小学校のスクールゾーン協議会に参加し、地域の安全対策のために情報共有を行っています。 ・近隣の公園に青空おでかけパークとして出かけ、5歳児が地域の親子と一緒に手遊びや体操を披露したり、一緒に遊んだりして交流をしています。公園への散歩だけではなく、消防署やバスの営業所にも行き、興味や関心の幅を広げ、働く人に感謝の気持ちをもつ機会も作るなど、地域資源でもある施設に協力頂き子供の学びと交流に工夫して取り組んでいます。また、園庭開放や夏季のプール開放など、積極的に地域の親子に施設を開放しています。 ・近隣保育園とドッジボール、リレー、かるた遊びを行っています。子どもだけではなく、職員も互いの園を行き来して保育について意見を交換し、互いに質の向上に努めています。 ・幼保小推進地区の取り組みとして近隣の小学校、幼稚園と交流を行っています。 ・今年度より年長児の高齢者施設への訪問交流を開始し、来年度以降も継続していく予定です。
<p>Ⅳ－1－(1)保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣地域のサークル団体の歌の会（年2回）、おはなし会（月1回）、和太鼓（年7回）を実施しています。近隣の方には夏まつり、運動会の実施前にお知らせをポスティングしています。近隣中学校より職業体験を受け入れています。 ・5歳児は小学校と連携し、学校見学や給食体験を実施、スムーズな就学準備をできるよう配慮しています。小学校のスクールゾーン協議会に参加し、地域の安全対策のために情報共有を行っています。

<p>IV-1-(2)子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の公園に青空おでかけパークとして出かけ、5歳児が地域の親子と一緒に手遊びや体操を披露したり、一緒に遊んだりして交流をしています。公園への散歩だけではなく、消防署やバスの営業所にも行き、興味や関心の幅を広げ、働く人に感謝の気持ちをもつ機会も作っています。 ・近隣保育園とドッジボール、リレー、かるた遊びを行っています。子どもだけではなく、職員も互いの園を行き来して保育について意見を交換し、互いに質の向上に努めています。 ・幼保小推進地区の取り組みとして近隣の小学校、幼稚園と交流を行っています。
--	----------	--

<p>IV-2 保育所における福祉サービスに関する情報提供</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園は保育における地域の共有財産であり、子育て相談や体験保育など、保育サービスの情報提供に取り組んでいます。具体的には、子育て応援保育園等のパンフレットや掲示文で、園の案内や子育て支援情報を提供しています。青葉区役所、地域ケアプラザ、親と子のつどいの広場などに育児支援事業のチラシを配架しています。また散歩時など公園でも情宣物を配布しています。 ・広報誌、メール配信など積極的に取り入れ情報発信に努めています。 ・園の概要を載せた園独自のパンフレットを元に、園内の見学を年間を通して随時行っています。主に園長、主任が対応実施し、園舎内外を案内しながら保育室にも入っていただき、保育の様子を見てもらっています。 ・電話での問い合わせに対応しやすいように、電話の横に簡単に記入できるように説明資料を用意して適切な対応に努めています。見学者には園庭開放、交流保育などの案内を行っています。
<p>IV-2-(1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援保育園等のパンフレットや掲示文で、園の案内や子育て支援情報を提供しています。青葉区役所、地域ケアプラザ、親と子のつどいの広場などに育児支援事業のチラシを配架しています。また散歩時など公園でも情宣物を配布しています。 ・広報誌、メール配信など積極的に取り入れ情報発信に努めています。

<p>IV-2-(2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園の概要を載せた園独自のパンフレットを元に、園内の見学を年間を通して随時行っています。主に園長、主任が対応実施し、園舎内外を案内しながら保育室にも入っていただき、保育の様子を見てもらっています。 ・電話での問い合わせに対応しやすいように、電話の横に簡単に記入できるように定型のフォーマットと説明資料を用意して適切な対応に努めています。見学者には園庭開放、交流保育などの案内を行っています。
--	----------	--

<p>IV-3 ボランティア・実習の受け入れ</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや実習生・中学生の職業体験などの受け入れを積極的に取組んで居り、専用マニュアルに沿って対応しています。また、受入れ者の記録を取り管理されています。 ・実習生の受け入れでは、実習生と園の双方が気付きを得られる様に取り組み、意義のある活動に繋げています。 ・最初のオリエンテーションで、園の基本方針、守秘義務、人権、安全、衛生面についてマニュアルを用いて細かく説明してから保育室にはいるようにしています。 ・オリエンテーションでは本人の希望クラスや内容を聞き、学習目的が達成できるようにしています。ボランティアの気づきや意見を園運営に反映させるようにしています。 ・担当クラス保育士が、毎日実習生と日々の振り返り、反省、翌日のねらいを確認するなどの指導を行っています。 ・実習の仕上げとなる責任実習では、きめ細かく指導計画立案の指導を行っています。 ・反省会では園長、主任、担当保育士との間で反省、振り返り、意見交換を行っています。 ・評価表は職員間で話し合い、速やかに提出しています。
<p>IV-3-(1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園の基本方針、守秘義務、人権、安全、衛生面を細かく説明してから保育室に入るようにしています。オリエンテーションでは本人の希望クラスや内容を聞き、学習目的が達成できるようにしています。ボランティアの気づきや意見を園運営に反映させるようにしています。

<p>IV-3-(2)実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 最初のオリエンテーションで、園の基本方針、守秘義務、人権、安全、衛生面についてマニュアルを用いて細かく説明してから保育室にはいるようにしています。 • 担当クラス保育士が、毎日実習生と日々の振り返り、反省、翌日のねらいを確認するなどの指導を行っています。 • 実習の仕上げとなる責任実習では、きめ細かく指導計画立案の指導を行っています。 • 反省会では園長、主任、担当保育士との間で反省、振り返り、意見交換を行っています。 • 評価表は職員間で話し合い、速やかに提出しています。
------------------------------------	----------	---

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

V-1 職員の人材育成

A

- ・人材育成計画は年度初めに青葉区の区運営方針に基づき園長が行動計画を立案し職員に説明した後に、職員一人一人が目標共有シートを作成しています。このシートをもとに園長と面談をして目標を確認し、年度末に自己評価面談を行っています。
- ・目標共有シートには保育士職キャリアラダーをもとに職位による目標を設定し、年度末にフィードバックを実施することで人材育成に力を注いでいます。
- ・新入職員にはトレーナー制度があり、目標設定や振り返り、フィードバック等を定期的に行い育成状況を確認しています。
- ・外部研修はこども青少年局、青葉区で計画されている研修に積極的に参加しています。しかしシフト勤務により希望しても業務の都合で参加できないこともあるので、研修受講者は報告書を提出し回覧、閲覧を励行し、職員会議やミーティングで報告し意見交換を通して情報を共有しています。
- ・保育所内研修は調理員も含めた全員で少人数に分かれ、テーマ別を実施しています。年度末には自己評価を行い次年度につなげています。
- ・保護者には正規、非正規を公開はしていませんが、業務分担は正規職員が主として行っています。
- ・ミーティングは各クラスから1名参加して行われ、記録ノートを閲覧し、参加者からエピソード等を報告するなどして当日の情報が確実に全職員に伝わるよう励行しています。
- ・非正規職員も順番に外部研修に参加するように努めています。

<p>V-1-(1)保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成計画は年度初めに青葉区の区運営方針に基づき園長が行動計画を立案し職員に説明した後に、職員一人一人が目標共有シートを作成しています。このシートをもとに園長と面談をして目標を確認し、年度末に自己評価面談を行っています。 ・目標共有シートには保育士職キャリアラダーをもとに職位による目標を設定し、年度末にフィードバックを実施することで人材育成に力を注いでいます。 ・新入職員にはトレーナー制度があり、目標設定や振り返り、フィードバック等を定期的に行い育成状況を確認しています。
<p>V-1-(2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修はこども青少年局、青葉区で計画されている研修に積極的に参加しています。しかしシフト勤務により希望しても業務の都合で参加できないこともあるので、研修受講者は報告書を提出し回覧、閲覧を励行し、職員会議やミーティングで報告し意見交換を通して情報を共有しています。 ・保育所内研修は調理員も含めた全員で少人数に分かれ、テーマ別を実施しています。年度末には自己評価を行い次年度につなげています。
<p>V-1-(3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には正規、非正規を公開はしていませんが、業務分担任は正規職員が主として行っています。 ・ミーティングは各クラスから1名参加して行われ、記録ノートを閲覧し、参加者からエピソード等を報告するなどして当日の情報が確実に全職員に伝わるよう励行しています。 ・非正規職員も順番に外部研修に参加するように努めています。

<p>V-2 職員の技術の向上</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月間指導計画作成の際には、前月の自己評価をクラス担任間で行い課題は当月の指導計画に反映するよう励行しています。 ・障がい児や配慮を必要とする子どもの保育に関しては地域療育センターあおばの巡回訪問を利用し、保育実践状況から技術的な評価や指導を受ける仕組みがあり、当保育所は2回以上利用しています。 ・青葉区で実践する人材育成研修を全職員が受講しています。 ・日々の保育日誌には、子どもの行動から内面の変化を具体
---------------------	----------	--

		<p>的に記述するよう心掛けています。一日の出来事を反省し自己評価することで保育の質の向上につなげています。指導計画においても月毎、期毎に自己評価し、改善点を翌月、翌期、翌年度に生かしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてケース会議を開き、複数の職員で子どもの育ちを見守り、確認し、その後の保育につなげています。 ・年度末にはクラスの保育を振り返り会議で報告しています。目標共有シートや保育士職キャリアラダーをもとに、毎年自らの保育を振り返り次年度の目標につなげています。 ・毎年度末には保育所の自己評価を公表し、アンケートなどの結果をもとに次年度の保育の改善に努めています。
V-2-(1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・月間指導計画作成の際には、前月の自己評価をクラス担任間で行い課題は当月の指導計画に反映するよう励行しています。 ・障がい児や配慮を必要とする子どもの保育に関しては地域療育センターあおばの巡回訪問を利用し、保育実践状況から技術的な評価や指導を受ける仕組みがあり、当保育所は2回以上利用しています。 ・青葉区で実践する人材育成研修を全職員が受講しています。
V-2-(2) 保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実績を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育日誌には、子どもの行動から内面の変化を具体的に記述するよう心掛けています。一日の出来事を反省し自己評価することで保育の質の向上につなげています。指導計画においても月毎、期毎に自己評価し、改善点を翌月、翌期、翌年度に生かしています。 ・必要に応じてケース会議を開き、複数の職員で子どもの育ちを見守り、確認し、その後の保育につなげています。
V-2-(3) 保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価をおこなっているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末にはクラスの保育を振り返り会議で報告しています。目標共有シートや保育士職キャリアラダーをもとに、毎年自らの保育を振り返り次年度の目標につなげています。 ・毎年度末には保育所の自己評価を公表し、アンケートなどの結果をもとに次年度の保育の改善に努めています。

V-3 職員のモチベーションの維持	A	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市人材育成ビジョン、保育士職キャリアラダーに基づき、経験や能力、習熟度に応じた役割が期待水準として明文化されています。全職員は園長と定期的な面談を行い、業務や目標の進捗状況やスキルアップのための話し合いを行っています。 ・年度末にこども家庭支援課長より、人事考課の評価を一人一人に開示しています。
-------------------	---	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・日常保育においてはクラス担任が責任を持って保育に従事していますが、判断しがたい事案や保育所全体に影響があるような事案については、園長、主任に相談し早期解決を図っています。 ・園長は目標共有シートに基づく面談や日頃のコミュニケーションの中から職員の満足度や要望などを把握しモチベーションの向上につなげています。
V-3-(1)総合的な人事管理が行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市の人材育成ビジョンに従い、経験、能力、習熟度に応じた役割が期待される水準として明文化されています。 ・年度末にこども家庭支援課長より、人事考課の評価を一人一人に開示しています。
V-3-(2)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市人材育成ビジョン、保育士職キャリアラダーに基づき、経験や能力、習熟度に応じた役割が期待水準として明文化されています。全職員は園長と定期的な面談を行い、業務や目標の進捗状況やスキルアップのための話し合いを行っています。 ・日常保育においてはクラス担任が責任を持って保育に従事していますが、判断しがたい事案や保育所全体に影響があるような事案については、園長、主任に相談し早期解決を図っています。 ・園長は目標共有シートに基づく面談や日頃のコミュニケーションの中から職員の満足度や要望などを把握しモチベーションの向上につなげています。

評価領域VI 経営管理

<p>VI-1 経営における社会的責任</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士倫理要綱や横浜市行動規準があり、職員は横浜市職員として、また保育士としての遵守事項を把握しています。 ・毎年不祥事防止研修を実施し、全職員が意識を高め不祥事防止に努めています。 ・ヒヤリハットも含め、園長より不正、不適切な事実の報告があった場合は当該事実と対策を全職員で共有し再発防止に努めています。 ・他国へのポリオワクチンを贈るためのペットボトルキャップ回収を保護者に呼びかけています。 ・年に1回保護者に声をかけてリサイクル交換会を実施しています。玄関にテーブルを設置し、保護者から提供してもらったリサイクル品を並べ、保護者が好きなものを持ち帰ってもらうシステムで、保護者からは好評を得ています。 ・ゴミは分別できるようにゴミ箱に大きく表示し、子どもたちも意識して取り組めるようにしています。 ・横浜市資源循環局の職員にリサイクルの講演をお願いし、分別の啓発活動を実践しています。 ・生ごみを利用して堆肥を作り、保護者や地域の方に配布しています。年間を通して節電を心掛けています。
<p>VI-1-(1)保育所として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士倫理要綱や横浜市行動規準があり、職員は横浜市職員として、また保育士としての遵守事項を把握しています。 ・毎年不祥事防止研修を実施し、全職員が意識を高め不祥事防止に努めています。 ・ヒヤリハットも含め、園長より不正、不適切な事実の報告があった場合は当該事実と対策を全職員で共有し再発防止に努めています。
<p>V-1-(2)公正かつ透明性の高い適切な経営・運営のための取組が行われているか (市立保育所は非該当項目)</p>		

<p>VI-1-(3) 保育の質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他国へのポリオワクチンを贈るためのペットボトルキャップ回収を保護者に呼びかけています。 ・年に 1 回保護者に声をかけてリサイクル交換会を実施しています。玄関にテーブルを設置し、保護者から提供してもらったリサイクル品を並べ、保護者が好きなものを持ち帰ってもらうシステムで、保護者からは好評を得ています。 ・ゴミは分別できるようにゴミ箱に大きく表示し、子どもたちも意識して取り組めるようにしています。 ・横浜市資源循環局の職員にリサイクルの講演をお願いし、分別の啓発活動を実践しています。 ・生ごみを利用して堆肥を作り、保護者や地域の方に配布しています。 ・年間を通して節電を心掛けています。
--	----------	---

<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理念や基本方針を明文化したものを事務室、保育室などに貼り、常に職員が意識できるようにしています。 ・理念や基本方針の確認については年度末に次年度計画を立てる際と年度初めの職員異動の際に行っています。 ・保護者会役員会には毎月園長または主任が出席し、保護者と情報を共有しています。重要な案件については会長などを通し話合いの場を持つように心がけています。 ・新たな事業や取り組みについては懇談会や掲示物で周知し、保護者の意見や疑問があれば収集し説明をしています。 ・重要な意思決定については、クラス会議、乳幼児会議、各種委員会等幅広い層から人選しプロジェクトを立ち上げ、全職員の意見が反映されるよう工夫しています。 ・職Ⅲ職員（入職 30 年～）は横浜市子ども青少年局や青葉区の主任相応の研修を受講しています。 ・乳児フリー、幼児フリーを置き、それぞれのチームをまとめ、主任と連携して業務状況の確認や調整をきめ細かく行っています。 ・職員の能力や経験等に応じて業務分担を行っています。行事などは前年度の担当者とペアになって取組み、ノウハウを引き継ぐなど円滑な運営ができるよう配慮しています。 ・勤務体制に偏りがないようにシフトの調整を行ったり、全クラスのその日の保育の様子や職員の様子を把握してクラス運営の相談や助言指導を行っています。
--------------------------------	----------	---

		<ul style="list-style-type: none"> ・職員とコミュニケーションを図ることで職員の体調面の状況を把握し健康管理を行っています。
VI-2-(1)保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・理念や基本方針を明文化したものを事務室、保育室などに貼り、常に職員が意識できるようにしています。 ・理念や基本方針の確認については年度末に次年度計画を立てる際と年度初めの職員異動の際に行っています。
VI-2-(2)重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会役員会には毎月園長または主任が出席し、保護者と情報を共有しています。重要な案件については会長などを通し話し合いの場を持つように心がけています。 ・新たな事業や取り組みについては懇談会や掲示物で周知し、保護者の意見や疑問があれば収集し説明をしています。 ・重要な意思決定については、クラス会議、乳幼児会議、各種委員会等幅広い層から人選しプロジェクトを立ち上げ、全職員の意見が反映されるよう工夫しています。
VI-2-(3)主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職Ⅲ職員（入職 30 年～）は横浜市子ども青少年局や青葉区の主任相応の研修を受講しています。 ・乳児フリー、幼児フリーを置き、それぞれのチームをまとめ、主任と連携して業務状況の確認や調整をきめ細かく行っています。 ・職員の能力や経験等に応じて業務分担を行っています。行事などは前年度の担当者とペアになって取組みノウハウを引き継ぐなど円滑な運営ができるよう配慮しています。 ・勤務体制に偏りがないようにシフトの調整を行ったり、全クラスのその日の保育の様子や職員の様子を把握してクラス運営の相談や助言指導を行っています。 ・職員とコミュニケーションを図ることで職員の体調面の状況を把握し健康管理を行っています。

VI-3 効率的な運営	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は横浜市や青葉区などを通して保育施策などの諸情報の収集に努め、必要に応じて会議やミーティングで職員に報告・相談を行っています。 ・保育施策などに合わせ、必要に応じた研修などを企画し実施しています。 ・保育所保育指針の改定が平成 30 年 4 月より施行されましたが、改訂に先立ち職員全員で勉強会を行い、新しい保育指針に当保育所の理念や基本方針をどのように反映させるか日々取組んでいます。改定の一環として保育要録の様式も
-------------	---	--

		改訂となり、現在作成替えをしています。
<p>VI-3-(1)外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は横浜市や青葉区などを通して保育施策などの諸情報の収集に努め、必要に応じて会議やミーティングで職員に報告・相談を行っています。 ・保育施策などに合わせ、必要に応じた研修などを企画し実施しています。 ・保育所保育指針の改定が平成30年4月より施行されましたが、改訂に先立ち職員全員で勉強会を行い、新しい保育指針に当保育所の理念や基本方針をどのように反映させるか日々取り組んでいます。改定の一環として保育要録の様式も改訂となり、現在作成替えをしています。
<p>VI-3-(2) 保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。 (市立保育所は非該当項目)</p>		

保育観察／子ども本人聞き取りシート A

保育所名	すすき野保育園	調査日	平成30年12月10、12日	調査機関	(公社)けいしん神奈川
------	---------	-----	----------------	------	-------------

クラス (年齢)	時間帯	保育の様子・子どもの様子
0歳児 もも組	12日 16:30～ 16:50	もも組の教室を掃除しているために、その間ちゅうりっぷの保育室で遊んでいます。3人の乳児に対して3人の保育士がマンツーマンで対応し一人一人にやさしく話しかけています。一人はままごとセットで料理遊びに夢中です。にこにこした男の子がよちよち歩きながらミカンのおもちゃを保育士に差し出しています。保育士はそれを受け取り、おいしそうに食べるふりをし「おいしいよ」と言っています。男の子は嬉しそうに微笑み別の保育士にも差し出しています。人見知りする子どももいます。声をかけると怪訝な顔をして向こうに行ってしまいました。
1歳児 たんぼ ぼ組	10日 12:10～ 12:30	午睡の時間です。保育室の窓を通して一人の女の子が食事を終え午睡の準備をしています。保育士が別の服への着替えを手伝っています。担任の保育士が連絡帳にコメントを記入しています。もう一人の保育士が寝付かれない子どもを左手で抱っこしあやしながら、右手で寝ている子どもの背中をさすっています。すやすや眠っている子どももいれば、不思議そうにこちらを見ている子どももいます。睡眠中の安全対策として保育士が寝ている子どもの顔をのぞきながらブレスチェックを行っています。
2歳児 ちゅう りっぷ 組	10日 16:00～ 16:20	当園は園庭が広いこともあり10人位の子どもが園庭で思い思いに三輪車で遊んでいます。ペダルを踏む足にぐっと力を入れて、やや前のめりになりながら一生懸命こいでいます。ハンドルを右、左に上手に切り他の子ども達の迷惑にならないようにこいでいます。園庭の端にある砂場ではままごとセットで砂遊びをしています。 園庭遊びは、最初に0歳～2歳の子どもたちが出て、少し後に3歳～5歳の子どもが出てくると言う使い方になっており、2歳の子どもたちは小さなおもちゃでママごと遊びなどをしていますが、3歳～5歳の子どもたちが入ってくると「だるまさんが転んだ」や相撲など、身体を動かす遊びと一緒に参加したりする子どもも出てきます。ここでは兄弟・姉妹が顔を合わせたりし、年長の子どもの自分の弟や妹も気に掛けている様子が伺え、2歳の子どもたちは安心感が得られるようで、異年齢の交流が自然な形で取り組まれています。

クラス (年齢)		子ども本人からの聞き取り
3歳児 あり組	12日 16:45～ 17:00	保育士と数人の子どもがプラレールで遊んでいます。みんなで協力しレールをつないだり、レールの上に機関車を載せたり楽しそうに遊んでいます。女の子が数人やってきて4歳と手で示してくれます。隣の女の子も同様に4歳と手で示してくれ、名前はなんというのと問いかけてきます。隣では女の子が指3本を上手に使って小さなネジを板にはめこんでいます。時々ドライバーを使ってネジをはめこんでいます。別の男の子はコマ回しをしています。指で上手に回転をかわわしています。2つのコマが勢いよく回っています。
4歳児 とんぼ 組	10日 16:00～ 16:20	園庭の片隅で女の子を中心に相撲ごっこをしています。保育士の「はっけよい残った」という合図とともに両者ぶつかり合います。手が顔に当たって泣きべそをかいています。負けた女の子がリベンジを果たし、満面に笑みを浮かべびよんびよん跳ねています。年齢を超えて子どもが集まってきます。別の場所では7人の子どもが「だるまさんが転んだ」ごっこに夢中になっています。鬼が振り向いたときに止まれず名前を呼ばれ次々と鬼に捕まって手をつないでいます。
5歳児 ちょう ちよ組	12日 11:30～ 12:10	給食の時間です。今日の献立はラーメン、切り干し大根、ごはん、リンゴです。野菜たっぷりのラーメンは子どもに大人気です。同じテーブルの子どもは全員おかわりをしています。みんな大きな声でしゃべりながら食事をしています。先生から「大きな声を出すと他の人に迷惑だよ」と注意されています。隣の男の子は「おかわりしないこともあるけど、今日はおかわりしたのでおなかパンパン。おなか爆発しそうだ」と言いながら食器を片付けに行きました。
		女の子に相撲ごっこ好きですかと尋ねると「大好きです。楽しいです」と声が返ってきます。転んだ女の子に「痛くない」と声掛けすると、首を横に振り「痛くない」と答えてくれます。
		隣の女の子にラーメン好きですかと声をかけると、「ラーメン大好き」とニコニコ返してくれます。「もうすぐ小学校だね」と言うと二人の女の子から「ランドセル買ってもらった」と胸を張っています。

備考	
----	--

■結果の特徴

すすき野 保育園

アンケート回収率 80.0% 送付数：90 回答数：72

保育園に対する総合的な満足度は「満足」が70.8%、「どちらかといえば満足」を加えると95.8%と高い水準です。

園の保育目標・保育方針については、70.8%が「よく知っている」、「まあ知っている」と回答しています。知っている保護者の96%がその目標に賛同しています。

とくに満足度の高い項目

・子どもが戸外遊びを十分しているかについて ・自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動について
 ・クラスの活動や遊びについて ・あなたのお子さんが大切にされているかについて ・保育目標や保育方針は賛同できるものと思えますかについて ・遊びを通じて友達や保育者との関わりが十分もっているかについて ・お子さんの体調への気配りについて ・給食の献立内容については ・保育園の総合評価について などが満足度が特に高いです。

満足度が低い項目

・施設設備について ・外部からの不審者侵入を防ぐ対策について ・園の目標や方針についての説明について
 ・年間の保育や行事の説明について ・開所時間内であれば柔軟対応については満足度が低いです。

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか。	よく知っている	まあ知っている	どちらかといえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
(人)	7	44	7	11	3	0	72
(%)	9.7%	61.1%	9.7%	15.3%	4.2%	0.0%	100.0%

(付問) あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	共感できる	まあ共感できる	どちらかといえない	あまり共感できない	まったく共感できない	無回答	計
	37	12	2	0	0	0	51
	72.5%	23.5%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れ方については	42	20	2	0	8	0	72
	58.3%	27.8%	2.8%	0.0%	11.1%	0.0%	100.0%
[その他] ・見学に行っていない ・見学していない ・見学していない ・見学していない ・見学しなかった ・見学していない ・見学せずに入園 ・見学してません							
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	37	25	5	0	5	0	72
	51.4%	34.7%	6.9%	0.0%	6.9%	0.0%	100.0%
[その他] ・準備等があるので説明会をもう少し早くやっていただけると助かる ・特に受けていない ・保護者会の活動内容についてもう少し情報がほしかった ・あまり覚えていない ・入園前に見学説明に行っていない							

園の目標や方針についての説明については	34	29	5	1	3	0	72
	47.2%	40.3%	6.9%	1.4%	4.2%	0.0%	100.0%
	[その他] ・あまり覚えていない ・覚えていない						
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	46	21	3	0	2	0	72
	63.9%	29.2%	4.2%	0.0%	2.8%	0.0%	100.0%
	[その他] ・あまり覚えていない ・急いでいて流れ作業に感じました						
保育園での1日の過ごし方についての説明には	44	26	0	1	1	0	72
	61.1%	36.1%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%	100.0%
	[その他] ・あまり覚えていない						
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	43	22	5	2	0	0	72
	59.7%	30.6%	6.9%	2.8%	0.0%	0.0%	100.0%
	[その他]						

問3 保育や行事の年間計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事の説明については	35	28	7	0	0	2	72
	48.6%	38.9%	9.7%	0.0%	0.0%	2.8%	100.0%
	[その他] ・どの行事にどのクラスが参加なのかが当初わからなかった						
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	24	36	4	3	3	2	72
	33.3%	50.0%	5.6%	4.2%	4.2%	2.8%	100.0%
	[その他] ・まだわからない ・まだわからない ・要望は聞かれていません						

問4 日常の保育内容について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
「遊び」について							
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	55	12	1	0	3	1	72
	76.4%	16.7%	1.4%	0.0%	4.2%	1.4%	100.0%
	[その他] ・子どもの戸惑いや遅れに対する配慮にもう少し気づけるようお願いしたい ・4歳児会話が好きなので、身体を動かす遊び以外に言葉遊び等も取り入れてほしい ・親は普通、子どもはやや不満						
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	63	7	1	0	0	1	72
	87.5%	9.7%	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%	100.0%
	[その他] ・とてもありがたいです。						
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	49	19	1	1	1	1	72
	68.1%	26.4%	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%	100.0%
	[その他] ・どんな物があるのか知りません						

自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	58	11	2	0	0	1	72
	80.6%	15.3%	2.8%	0.0%	0.0%	1.4%	100.0%
[その他]							
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	52	15	3	0	1	1	72
	72.2%	20.8%	4.2%	0.0%	1.4%	1.4%	100.0%
[その他] ・わかりません。							
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	45	20	5	0	1	1	72
	62.5%	27.8%	6.9%	0.0%	1.4%	1.4%	100.0%
[その他] ・わかりません							

「生活」について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	51	19	1	1	0	0	72	
	70.8%	26.4%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	100.0%	
[その他]								
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	47	21	2	2	0	0	72	
	65.3%	29.2%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	100.0%	
[その他]								
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	50	20	2	0	0	0	72	
	69.4%	27.8%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
[その他] ・時間をかけて取り組む余裕をもってしてくれるので個々のペースを大事にしてもらえていると思う。								
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	49	15	6	1	1	0	72	
	68.1%	20.8%	8.3%	1.4%	1.4%	0.0%	100.0%	
[その他] ・どの園も同じだと思うが昼寝の時間が長く感じる。夜すんなり寝ない ・眠くても決まった時間まで頑張らせているようです								
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	39	23	4	0	4	2	72	
	54.2%	31.9%	5.6%	0.0%	5.6%	2.8%	100.0%	
[その他] ・まだしていない ・まだ時期がきていないため不明 ・まだ始まっていないためわからない ・まだその時期でないです								
お子さんの体調への気配りについては	52	18	1	1	0	0	72	
	72.2%	25.0%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	100.0%	
[その他]								
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	47	23	2	0	0	0	72	
	65.3%	31.9%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
[その他] ・加害の時には説明があるが、被害の時に特に説明がなかった事がある。今でもその傷は消えずに残っている ・まず言い訳からでした								

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	30	32	6	3	1	0	72
	41.7%	44.4%	8.3%	4.2%	1.4%	0.0%	100.0%
	[その他] ・古いのは仕方がないが、もう少しメンテナンスにお金をかけても良いと思う						
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	44	22	4	2	0	0	72
	61.1%	30.6%	5.6%	2.8%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	31	27	12	1	1	0	72
	43.1%	37.5%	16.7%	1.4%	1.4%	0.0%	100.0%
	[その他] ・幅広い年齢層が送り迎えするので、欲を言えばもう少し対策した方が良いかなと思います						
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	47	16	7	2	0	0	72
	65.3%	22.2%	9.7%	2.8%	0.0%	0.0%	100.0%
	[その他] ・いつどのクラスで発生したのかわからない提供の仕方となっている ・いつも張り紙してある						

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	43	24	2	2	1	0	72
	59.7%	33.3%	2.8%	2.8%	1.4%	0.0%	100.0%
	[その他] ・まだない						
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	49	19	4	0	0	0	72
	68.1%	26.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	[その他]						
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	53	18	0	1	0	0	72
	73.6%	25.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	100.0%
	[その他] ・平日が多い。・いつも平日に行く。土、日希望しても受けてくれない。以前に避難訓練、引き渡し訓練があり、行事に保護者の参加ができない家庭が多くあった時、「行事に参加できないですね」と言われ当てつけのように感じた。						
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	40	21	11	0	0	0	72
	55.6%	29.2%	15.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	[その他] ・先生によっては何も伝えてくれません						
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	40	30	2	0	0	0	72
	55.6%	41.7%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	[その他] ・あまり時間が合わずそのまま数か月たつこともある						

保護者からの相談事への対応には	41	29	1	0	1	0	72
	56.9%	40.3%	1.4%	0.0%	1.4%	0.0%	100.0%
[その他] ・園の決まり事にこだわり臨機応変に対応してできませんでした							
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	35	24	5	3	4	1	72
	48.6%	33.3%	6.9%	4.2%	5.6%	1.4%	100.0%
[その他] ・わからない ・残業などないため ・そのようなことがなかったのわからない ・電車遅延の際証明書がないとダメだと言われ、急いでいる時に面倒だった ・使った事がないのでわかりません							

問7 職員の対応についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	49	22	1	0	0	0	72
	68.1%	30.6%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
[その他]							
あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるかについては	55	14	1	2	0	0	72
	76.4%	19.4%	1.4%	2.8%	0.0%	0.0%	100.0%
[その他]							
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	41	21	3	1	4	2	72
	56.9%	29.2%	4.2%	1.4%	5.6%	2.8%	100.0%
[その他] ・わからない ・該当する状態でないため不明							
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	47	19	3	1	2	0	72
	65.3%	26.4%	4.2%	1.4%	2.8%	0.0%	100.0%
[その他] ・感情的に怒ってイライラした様子の先生を見たことがあり、少し気になった							
意見や要望への対応については	41	24	3	1	3	0	72
	56.9%	33.3%	4.2%	1.4%	4.2%	0.0%	100.0%
[その他] ・何とも言えない ・使った事がないのでわかりません ・園の決まり事にこだわり臨機応変に対応してできませんでした							

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	—	計
総合満足度は	51	18	1	1	1		72
	70.8%	25.0%	1.4%	1.4%	1.4%		100.0%

利用者アンケート集計結果（グラフ表示）

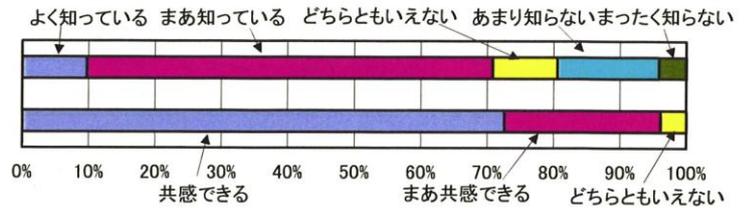
調査対象保育園：すずき野 保育園

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1

あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか

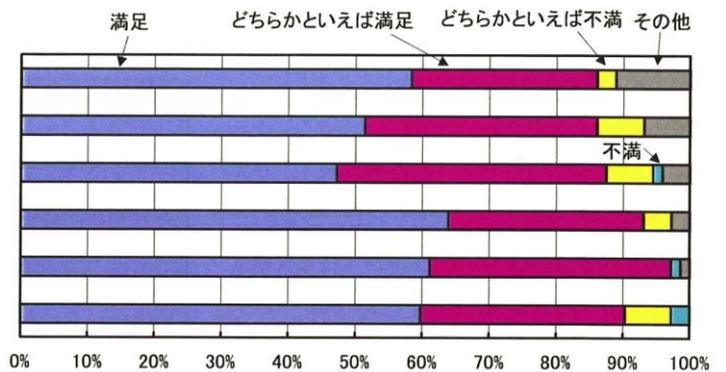
あなたは、その保育目標や保育方針は
賛同できるものだと思いますか



■ 保育園のサービス内容について

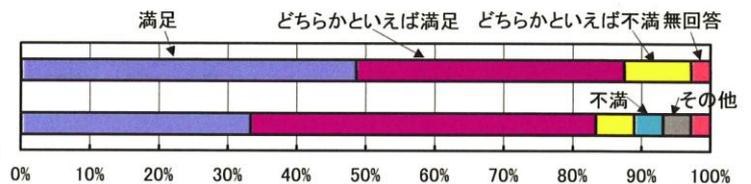
問2 お子さんが入園する時の状況について

- 見学の受け入れについては
- 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については
- 園の目標や方針についての説明については
- 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については
- 保育園での1日の過ごし方についての説明について
- 費用やきまりに関する説明については



問3 保育や行事の年間計画について

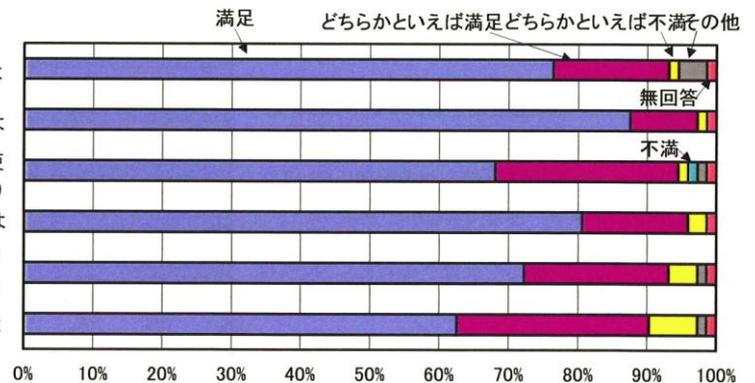
- 年間の保育や行事についての説明については
- 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては



問4 日常の保育内容について

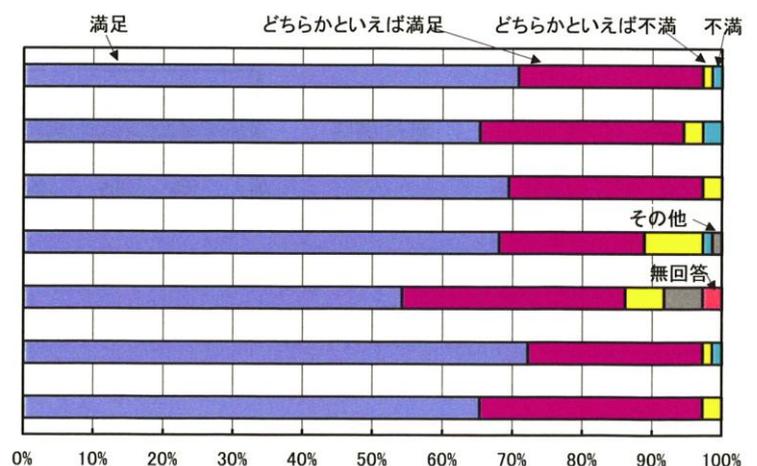
「遊び」について

- クラスの活動や遊びについては
- 子どもが戶外遊びを十分しているかについては
- 園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)
- 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については
- 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては
- 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては

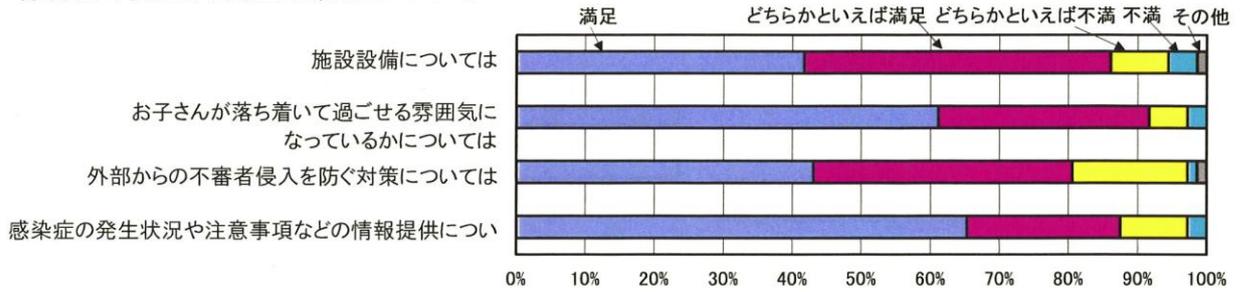


「生活」について

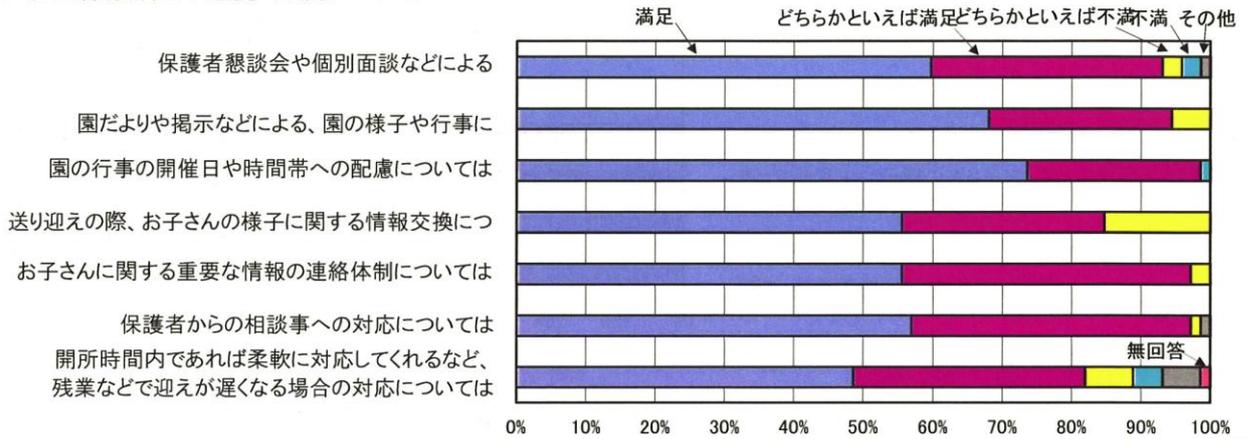
- 給食の献立内容については
- お子さんが給食を楽しんでいるかについては
- 基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては
- 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては
- おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては
- お子さんの体調への気配りについては
- 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応については



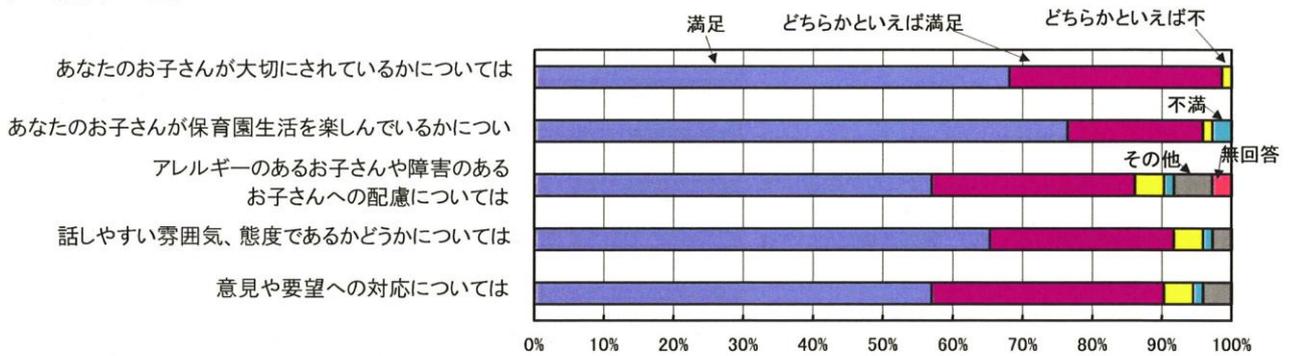
問5 保育園の快適さや安全対策などについて



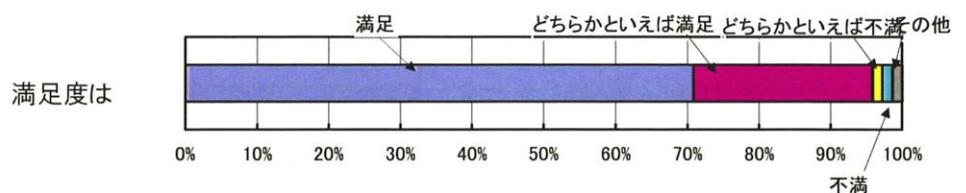
問6 園と保護者との連携・交流について



問7 職員の対応について



問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足しています



すすき野保育園の評価結果の“まとめ”

評価結果より（優れている点の特徴）

- 子ども一人一人の育ちを大切にする保育を実践
- 保護者との信頼関係の構築
- 意思疎通を図り質の高い保育サービスの提供
- 調理員と保育士との連携により食事の楽しさを提供
- 人材育成・援助技術の向上⇒質の高い保育サービスの提供

アンケート結果より

日常の保育内容への満足度が高い（97.2%）

- 子どもが戸外遊びを十分しているかについて満足度が高い。
- 自然に触れたり地域に関わるなどの園外活動について満足度が高い
- ★施設設備の老朽化に伴う安全性に対する満足度が低い。

- 自己肯定感と内面の育ちの醸成を卒園時のゴールとし、各発達段階に応じた的確な対応
- 保育所と保護者は子育てにおける車の両輪という意識が職員全員に浸透
- シフト勤務のハンディを克服し、職員間の徹底した情報共有による均一で質の高い保育サービスの提供

- 調理員と保育士の信頼関係の構築

★保護者の声

- ・外部からの不審者侵入防止対策を
- ・遊具をもう少し充実してほしい
- ・園の様子をもっと知りたい

事業者コメント

当施設は 1980 年 6 月に開園し、現在に至っております。

2012 年度第三者評価を受審し、今回 2 度目となります。

第三者評価を受審するにあたり、各自の自己評価をもとに話し合いを進め、全職員で検討、確認を行いました。こうした作業を通じて、保育に関して一人一人の捉え方の違いなどに気づき、見解を統一させるための話し合いは大変有意義な時間でした。

今回の受審をきっかけに、さらに深く保育を掘り下げ、職員間で語り合うことを大切にしていきたいと思います。

お忙しい中アンケートにご協力していただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。高い回答率から皆様が保育園とともに園運営に取り組んでいただいていることを改めて実感いたしました。

また、丁寧な聞き取りで当園の良さと課題を明確にしてくださった評価機関の皆さまに感謝いたします。

今後も定期的な自己評価を実施し、子ども一人一人の健やかな育ちを保障し、大人も子どもも共に育ちあえる保育園を目指し、職員一同努力していきたいと思います。

横浜市すすき野保育園

園長 八弮 一美